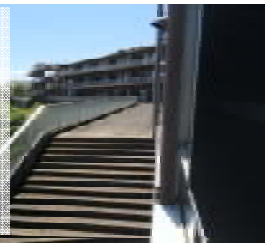




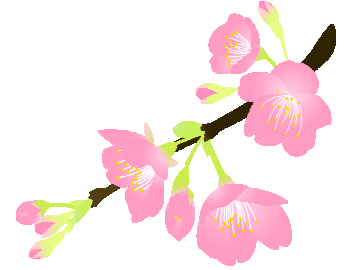
田谷の風

第48号

発行日:令和5年5月10日(四半期発行)
介護老人保健施設ケアポート・田谷機関紙
〒244-0844 横浜市栄区田谷町 2030-3
TEL:045-858-5882
発行責任者:佐貫恵吉



コロナ禍でのお花見



「来年こそはお花見に行けたらいいですね。」

という会話がされるようになってから、はや3年の月日が流れました。新型コロナウイルス感染症に対する世間の関心は薄くなってきているようですが、未だ終息とは言えない状況が続いています。特に高齢者施設においては様々な場面で制限の継続を行わなければならない、ご家族の皆さまにはご不便をお掛けしておりますが、多大なるご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

さて、今号が発行されるころにはすでに終わっていることと思いますが、今年もお花見の季節がやってきました。

ケアポート・田谷の近隣には、栄区の千秀公園・金井公園、戸塚区の春日神社・小雀公園・柏尾川周辺、鎌倉市の谷戸池公園など、車で出掛けてお茶とお菓子を楽しみながら桜の花を愛でることが出来るスポットが多数あり、春になると高齢者施設の車が場所を取り合ったものです。新型コロナウイルス感染症が発生する前の平成31年までは毎年のようにお花見に出掛け



ていましたが、令和2年より中止となり、今年も外へ出掛けてのお花見は行えていません。

幸いなことに施設の敷地内には本数は多くないのですが、道路沿いには「河津桜」と「八重桜」、正面から見ることは出来ませんが裏側の敷地には「染井吉野」の三種類の桜があり、2月下旬から4月中旬まで桜の花を楽しむことが出来るため、外出が出来ない環境であってもご利用者の方々は桜の花を楽し

まれているようです。

今号では施設内で行ったお花見の様子を特集しています。施設でのご利用者の様子をご覧いただける数少ない機会ではありますが、みなさまの笑顔をお楽しみいただければ幸いです。

今度こそ「来年こそは・・・」の願いがかなえられますように。

事務長

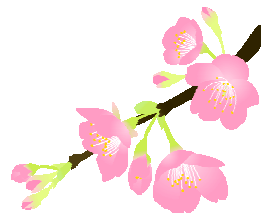


2023年花見

今年も冬が終わりあちらこちらの桜が咲き始め、当施設も恒例のお花見を実施致しました。今年の横浜の開花は3月前半、季節外れの暖かさとなり花芽の成長が進み例年より10日位早かったそうです。今年も昨年同様、外出を控え施設からのお花見とし、3月23日～3月29日をお花見週間として天気良く暖かい日に外気浴を兼ね2階のベランダで行いました。



当施設は高台にあり、見晴らし良く、実はお花見の絶景スポットなのです。手が届く程近くで咲く桜から眼下の街中で菜の花とコラボする桜。少し離れた山に咲く桜まで沢山の桜を見る事ができます。散ってしまった花びらは桜の絨毯となり、時折吹く風で舞う花びら。その景色に風情を感じて頂けたのではないのでしょうか。



コロナ禍が続き制限される事が多く、ベランダでのお花見となりましたが、久しぶりに扉の外に出て、外の空気を沢山吸い、満開の桜を見てとても楽しそうなご利用者の笑顔でした。短い時間でしたが、色々な思いを持って楽しんで頂けたのではないのでしょうか。

後日ですが、昼食にイベント食の「お花見弁当」を召し上がって頂きました。とてもキレイで春を感じる、美味しいお弁当に皆様食が進み喜んでいらっしゃいました。ご利用者の沢山の笑顔が嬉しく、今年も無事お花見が出来、美味しいお弁当を頂く事が出来て良かったです。



2階介護

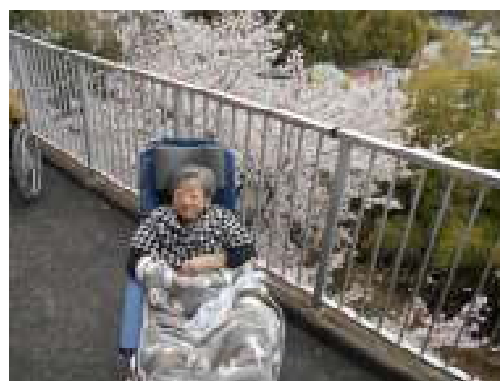
3Fお花見(施設内にて)

今年も昨年同様、例年に比べ一層の暖かさと、それと同時に春の陽気も一段と進み、桜の開花も更に早くなりました。

昨年新型コロナウイルスの影響もあり、天候には恵まれたものの同施設内での桜見学となりました。

本年に関しては、新型コロナウイルスについて行動規制緩和など、社会的にも賑わいを取り戻しつつも、未だ終息の気配は見えない中であり、引き続き本年も同施設内からの桜のお花見を実施する事と致しました。

前後の予報は雨、当日は曇りという中、時折晴れ間も見られる中、実施しました。但し、満開に咲いた桜を目の前



にして、ご利用者皆さま笑顔が見られ、非常に満足した表情を浮かべていらっしやいました。後半は、小雨に降られることもありましたが、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。



お花見は、ご利用者皆さまが喜ばれる行事であり毎年必ず行えるように、この一年新型コロナウイルス対策等、私達を取り巻く環境の変化に対応しながら、また来年も桜を、お花見が出来るように、ご利用者また職員も体調に気をつけて行きたいと思います。

それでは本年度もよろしくお願いいたします。

3階介護



春の気配がすぐそこまで来ている
3月8日、今年もまたケアポート・田
谷の餅つき大会を行うことが出来ま

した。元々は新年最初の行事として皆様にもご案内していたのですが、未だ終わらない新型コロナウイルスの影響によりこの時期まで延期することとなってしまいました。しかし待たされた分だけ期待は膨らむもので、短いながらも終始笑顔の絶えないひとときを過ごすことが出来ました。ひとたび餅つきが始まると、男性よりも力強く腰の入った杵捌きを見せる女性職員や昔を思い出すかのようにじっくりと噛みしめながら搗くご利用者、そして自ら餅を搗く際の掛け声の仕方までリクエストされるご利用者もいらっしやったりして、熱のこもったパフォーマンスに会場は大盛り上がりでした。



そして餅つきの合間には昨年から始めた獅子舞の登場です。去年は看護課長が獅子舞を務めましたが、今年は2階のケアマネが担当しました。事前練習では少し不安そうな面持ちをしていた彼も、本番ではとても素晴らしい獅子舞の演武でご利用者のハートを鷲掴みに。その結果、「獅子舞に噛んでもらいたい」と希望されるご利用者がなかなか途切れず、一躍人気者となった獅子舞は会場の端から端まで何度も往復することとなってしまい、終わる頃にはヘトヘトになっていました。



その後のおやつでは先程搗いたばかりの餅を使用したお汁粉を召し上がっていただきましたが、「ここで餅が食べられるとは思わなかった。嬉しくて夢に出そう！」とまで仰ってくださるご利用者もいて、これまた大盛況でした。その後、果たして本当に餅の夢を見られたかどうかまではお聞き出来ませんでした。幸せ





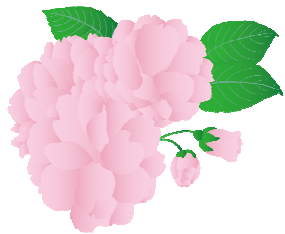
な夢と共に、この餅つき大会の思い出がいつまでも皆様の心に残るものであれば「素敵なことね♪」と感じた 1 日でした。

栄養課副主任



暖かい風が吹くようになり、とても過ごしやすくなって来たように感じられます。皆様は、いかにお過ごしでしょうか。デイの最近の様子を書きたいと思います。例年だと4月にはご利用者皆様と一緒に、近くの公園などでお花見をしていたのですが、未だコロナ禍ということもあり、集団でのお花見が実施できない状況です。そのため個別で行う屋外歩行訓練を通して施設周りにある桜を見て回っています。施設には3種類の桜、河津桜・染井吉野・八重桜があります。施設正面玄関から見える坂の上の河津桜は、年末辺りから数輪咲いている状態で「こんなに

に寒いのになぜ？」ととても驚かされました。2月中旬には、満開になり、ご利用者も楽しんでいる様子でした。施設裏手にある染井吉野は、本数が多い為、景色がとても壮大に感じられます。ご利用者とベンチに座り桜を眺めて



いると、柵の上をリスがふいに走ってくることがあり、思わずびっくりしつつ、拍手してしまうこともありました。

3月下旬には満開となり、そしてすぐに花びらが舞う頃が訪れ、花びらの多さもあいまって、とてもなごまされました。そして、河津桜の横にある八重桜が4月上旬には満開を迎え、施設玄関からは見えづらい場所にある為、「今日も坂道を上がって見に行きましょう」と声をかけていました。

今年の春は、例年に比べとても暖かく、桜の開花時期がとても早かったです。3種類の桜をかわるがわる見て回ることができ、私としても、とても楽しい時間でした。皆様にとってはいかがでしたでしょうか。また、今後も皆様と一緒に色々なお話をしながら、素敵な花を探しに行きましょう。

通所リハ介護

